

賃貸物件の空き部屋利用、特殊詐欺 容疑者2人逮捕 内見予約し現金詐取、被害額11億円か

2025/10/31 朝日新聞 朝刊 25ページ 680文字

賃貸物件の空き部屋に現金を送らせる手口の特殊詐欺に関わったとして、警視庁は、住吉会系暴力団の幹部の山下正博（44）＝東京都世田谷区＝と、組員の岩切博信（35）＝同台東区＝の両容疑者を詐欺容疑で逮捕し、30日に発表した。認否は明らかにしていない。

特別捜査課によると、2人の逮捕容疑は、何者かと共謀して2024年7月、静岡県男性に電話で「あなたの携帯電話が原因でウイルス感染の被害が生じている。保険料が必要」とうそをつき、都内のアパートの空き部屋に現金300万円を送らせ、部屋の前で受け取ったというもの。

両容疑者は不動産会社経営の男性を通じて、不動産業者間で使われるサイトを使い、このアパートの一室の内見を予約。その後、協力する別の人物が被害金を受け取ったとみられるという。

警視庁は、男性が昨年1年間に内見予約した都内の賃貸物件のうち、特殊詐欺に使われたのは約80室、被害額は計約11億円に上るとみている。

「内見」は賃貸物件を探す際に、不動産業者の案内で部屋を見る手続き。近年は、業者間サイトで、以前よりも簡単に内見予約ができる。ある捜査幹部は「空き部屋が犯罪を下支えしてしまっている。物件の価値を下げることにもつながりかねない」と危機感を漏らす。

国土交通省は今年3月、不動産業界団体に対して、犯罪対策に協力するよう依頼した。添付リーフレットでは、部屋の合鍵を保管するキーボックスの暗証番号が犯罪グループに悪用されたり、郵便ポストに架空の表札が貼られたりした事例を紹介。合鍵やポストの管理の徹底や、暗証番号の定期更新を求めている。（三井新、西岡矩毅）

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.

組幹部ら 詐欺容疑逮捕 内見悪用 空室で被害金授受か

2025/10/31 東京読売新聞 朝刊 29ページ 483文字

保険金名目で現金をだまし取ったとして、警視庁は30日、いずれも職業不詳の住吉会系暴力団幹部山下正博（44）（東京都世田谷区弦巻）、同組員岩切博信（35）（台東区浅草橋）両容疑者を詐欺容疑で逮捕したと発表した。不動産仲介業者の男（別の詐欺未遂ほう助罪で公判中）に業者用のサイトから内見の予約をさせた空き部屋で、詐欺の被害金を繰り返し受け取っていたとみている。

発表によると、2人は男らと共謀して昨年7月、「セキュリティ協会」の職員を装って静岡県牧之原市の60歳代男性に「あなたの携帯電話が原因でウイルスの感染被害が生じた。保険に加入すれば補償がある」とうその電話をかけ、東京都練馬区の空室のアパート一室に現金300万円を宅配便で送らせ、詐取した疑い。2人の逮捕は29日。

2人が関与する特殊詐欺グループは、被害者に送らせた現金を空き部屋で待機させた「受け子」に受け取らせたり、宅配業者に玄関先に置かせたりして回収していたという。同庁は、同じ手口で不動産仲介業者の男が内見予約した都内の約80部屋に、昨年1年間で特殊詐欺被害金計約11億円が送付されたとみて調べている。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.